

地球温暖化対策推進大綱関連予算の主な例

別紙1

対 策 分 野	15年度 予算額	16年度 予算額	対前年度比 増減額 (率 (%))	
1. 6%削減約束の達成に向けた地球温暖化対策の推進				
(1) エネルギー需要両面の対策を中心とした二酸化炭素に係る排出量削減 ＜エネルギー起源の二酸化炭素排出量削減対策（省エネ対策）の推進＞				
産業部門の需要面での対策 例) 省エネ効果の高い事業の取組支援	13,130	16,091 13,800	2,961	(+ 23%)
民生部門の需要面での対策				
機器の効率改善対策 例) ネットワークの低消費電力化	5,448	2,547 2,325	▲ 2,901	(- 53%)
住宅・建築物の省エネルギー性能の向上 例) 住宅・建築物への高効率機器の導入	24,569	25,031 13,704	462	(+ 2%)
エネルギー需要マネジメントの強化 例) BEMS導入支援	900	582 490	▲ 318	(- 35%)
運輸部門の需要面での対策				
自動車交通対策 例) 低硫黄石油系燃料導入促進 政府による低公害車の導入	6,641	9,938 5,100 1,900	3,297	(+ 50%)
環境負荷の小さい交通体系の構築 例) 新幹線鉄道整備費補助 地下高速鉄道整備費補助 ニュータウン鉄道等整備費補助 交通施設バリアフリー化設備費補助	127,346	124,376 68,600 37,700 3,600 3,500	▲ 2,970	(- 2%)
＜エネルギー供給面の二酸化炭素削減対策の推進＞				
新エネルギー対策 例) RPS法の認定に基づく事業計画への支援 燃料電池の安全技術の確立、関連機器の開発	142,980	141,778 48,255 6,353	▲ 1,202	(- 1%)
燃料転換等 例) 天然ガスへの燃料転換のための補助	10,767	9,693 3,850	▲ 1,074	(- 10%)
原子力の推進 例) 原子力開発利用の推進 電源立地対策費	221,701	255,680 131,500 121,200	33,979	(+ 15%)
(2) 非エネルギー起源二酸化炭素、メタン及び一酸化二窒素の排出抑制対策の推進 例) 廃棄物処理施設整備費	220,319	206,623 131,500	▲ 13,696	(- 6%)
(3) 代替フロン等3ガスの排出抑制対策の推進 例) 省エネフロン代替物質合成技術開発	1,223	345 180	▲ 878	(- 72%)
(4) 革新的な環境・エネルギー技術の研究開発の強化 例) 地域新生コンソーシアムエネルギー研究開発 地球温暖化防止新技術プログラム	42,406	37,458 6,000 6,000	▲ 4,948	(- 12%)
(5) 国民各界各層による更なる地球温暖化防止活動の推進 例) 普及啓発	10,914	13,788 5,900	2,874	(+ 26%)
(6) 温室効果ガス吸収源対策の推進				
森林・林業対策の推進 例) 森林環境保全 都市緑化等の推進	392,385	385,145 102,400	▲ 7,240	(- 2%)
(7) 京都メカニズムの活用 例) CDM/JI事業者への支援 京都メカニズム活用のための基盤整備	1,798	4,999 1,999 1,650	3,201	(+ 178%)
(8) その他 例) 環境教育の推進	222	210 100	▲ 12	(- 5%)
2. 定量的な評価・見直しの仕組み 例) 諸外国での温暖化対策に関する調査	2	13 7	11	(+ 442%)
3. 温室効果ガス排出量の算定のための国内制度の整備 例) 森林による吸収量算定手法の開発	642	505 502	▲ 137	(- 21%)
4. 観測・監視体制の強化及び調査研究の推進 例) 南極観測事業 気候変動予測プロジェクトの推進	50,157	13,363 5,680 4,127	▲ 36,794	(- 73%)
5. 地球温暖化対策の国際的連携の確保 例) 省エネ・代エネ技術の国際普及 エネルギー需要見通し作成	13,088	10,419 8,550	▲ 2,669	(- 20%)
合計	1,286,639	1,258,584	▲ 28,055	(- 2%)

(単位：百万)

関係する予算額のうち「都市緑化等の推進」に該当する内数を切り離せないため不計上。